



SSH指定6年目始まる！

鹿児島中央高校は、平成30年度に文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、探究的な活動を中心とした取組を行っています。昨年度をもってⅠ期（5年）が終了し、今年度はⅡ期に向けての「経過措置」となりました。

昨年度は、1年生（現2年生）が探究活動の基礎を学び、2年生（現3年生）は本格的な課題研究を実施しました。文系・理系の枠を越えた様々なテーマの研究・調査が行われ、大学が主催するコンテストや「SDG's みらい甲子園」など多くの発表会に参加しました。その中で生徒は数多くの経験をし、優秀賞など様々な賞を得ることができました。



▲「SDG's みらい甲子園」ファイナルセレモニー（3月）

現在、3年生は7月に宝山ホールで開催予定の「SSH最終報告会」に向けて準備を進めています。また、2年生の課題研究も本格的にスタートしました。

「SSHニュース」では、SSHに関する行事や研究活動の様子等を伝えます。また、本校SSH専用ホームページでも随時、生徒の様子等を紹介して参ります。ぜひご覧ください。

今年度の主な予定

- 7月 SSH最終報告会（全学年）
- 9月 学問探究学年発表会（1年生）
- 11月 SSH中間報告会（全学年）
- 12月 SSH交流フェスタ（2年生）
- 12月 SSH先端研究機関研修（1年生）
- 2月 SSH科学講演会（全学年）

1年生の探究活動

探究活動についてオリエンテーションを行った後、様々な学問について研究する「学問探究」を実施します。最初の活動として、自分の考えや夢などを自由に書き出し、自分のことを改めて考える「アイデアマップ」を作成することから始まります。それを班のメンバーに発表し、感想や質問を受け、自分の興味・関心を深めていきます。今後はグループごとに学問について研究を進め、9月に開催予定の「学問探究発表会」に向けて準備を進めていきます。



「探究Ⅲ」の活動から

3年生の「探究Ⅲ」研究班の活動を紹介します。『泥を用いた微生物燃料電池の発電量を大きくすることができれば、自然災害時に活用できるのではないかと』という仮説のもと、鹿児島市内の各地の泥を採集し、発生する電流値を測定します。どのような環境の泥が最も高い電流値を示すのでしょうか。



▲研究材料として甲突川の泥を採取しました